

平成 18 年 8 月 16 日

各 位

会 社 名 株式会社A O K Iホールディングス
代表者名 代表取締役社長 青 木 拡 憲
(コード番号 8214 東証・大証第一部)
問合せ先 専務取締役 中 村 憲 侍
(TEL.045-941-4888)

株式会社フタタへの経営統合案についての現在の状況について

当社は、当社と株式会社フタタ（以下「フタタ」という。）の経営統合はフタタの株主の皆様をはじめ全ての関係者の皆様の利益となるものと確信し、平成 18 年 8 月 7 日開催の取締役会で、フタタに対する提案書を承認し、同日フタタに提案いたしました。また、同提案書につきましては、平成 18 年 8 月 18 日までに回答したい旨、フタタより通知があり当社はそれを承諾しております。

当社は、これまで経営統合の具体的内容のみならず、統合後の事業方針及び方向性まで、広くステークホルダーの方々にも検証していただけるよう開示しております。これは、当社のステークホルダーのみならずフタタの株主の皆様を始めとするステークホルダーにとって意思決定をするための必要な情報提供だと考えるからです。当社としましては、全てのステークホルダーの方々に透明性の高い判断プロセスが可能な状況にすることが必要だと考えますので、現在までの当社の考え方をご報告させていただきます。

まず、公開買付けの実施および価格についてですが、当社の作成した事業計画では、あくまでフタタの役員及び従業員の皆様が当社グループに対して友好的に企業価値の最大化に協力していただけるという前提で作成し、その前提において公開買付け価格も決定しております。仮にフタタ取締役会が反対するならば、その大前提が覆されることになり、当社の想定している事業計画の達成が大きく困難になることが考えられます。よって当社としましては、当社の提案がフタタ株主の皆様をはじめとする全ての関係者の皆様の利益となることをご理解いただき、ご賛同いただいたうえで、本件を友好的に進めて参りたいとの考えに基づいておりますので、敵対的となる公開買付けは実施しない予定です。また、公開買付け価格

につきまして、当社の作成した事業計画に基づき第三者機関に算定していただいた価格を参考にして慎重に決定いたしましたので、公開買付け価格を変更する予定はありません。

最後に、当社は今回の経営統合に関して、紳士服事業での新規出店や他店舗での就業による従業員の完全雇用を約束しております。当社の考える統合後の事業戦略では、紳士服事業の強化及び不採算店の撤退や他業態への転換も含まれますが、当社はその際に従業員の雇いをいかに守っていくか、また地域社会にどのような貢献をしていくのかという考えをフタタに伝え、ご理解いただけたものと解しております。当社がフタタにお伝えした従業員対策の主な要旨は、不採算店の撤退や他業態への転換の際に余剰となる人員よりも、新規出店及び他店舗で必要な人員のほうはるかに多くなる計画でありますので、むしろ人員体制で不足が生じる可能性もあるということ、また店舗を撤退した場合の地域社会の経済を疲弊させないために、できる限りカラオケ、複合カフェ、フィットネスクラブ等の事業へと業態転換し、地域の経済基盤の安定化を図りたいと考えていることです。また、実績として、当社は平成15年6月に株式会社トリイ（以下「トリイ」という。）と提携し、平成17年に合併いたしました。提携の際に両社との間で全従業員の雇用継続を含む協定書を締結して進めており、現在も自然減での一部退職はありますが、提携後の離職率は改善しており、トリイの社員の方々は当社グループでご活躍いただいております。

以上